

海のしくみわかったかな？
勉強をして みんなで
もっと海をすきになろう!!



たのうら 田ノ浦ビーチまるごとマップ

海辺で あんぜんに たのしくあそぶために!!

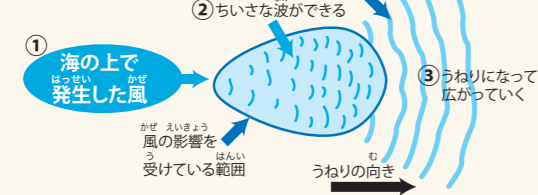
海のこと、知ってる？

波の作られ方

【波は、どうしてできるの?】

- 波のできかたは 3つ理由がある
- ① 風によってうまれる 風浪
 - ② 潮の干満によっておこる 潮汐波
 - ③ 地震などによっておこる 津波

【風浪のできかた】



海の上で発生した風は、海面を刺激して小さな波を作ります。その波は次第に波長が長くなり、うねりとなって広がっていきます。波の周期(波と波の距離)や波の高さは風の吹く距離・時間・強さの3つの要因によって異なります。

波の種類

波には大きくわけて次の3種類があります。よく観察して、安全な波であそびましょう。

【くだけ寄せ波】

この波は、岸に近づいてもくずれません。岩場などでは、波のちからで足を引きこまれることもあるので注意しましょう。



【くずれ波】

この波は、波の頂上が波の表面に転がり落ちるようにしくずれます。サーフィンやボディーサーフなどの、波を楽しむスポーツをする人にとって良い波といえるでしょう。



【まき波】

この波は、うねりが急な斜面の海底にぶつかり、いきなりくずれ、ダンパーとも呼ばれます。すさまじい力でくずれ、泳いでいる人がこの波に巻かれると簡単に海底にたたきつけられて、ケガをすることがあるので注意しましょう。



リップカレント (離岸流)

【離岸流ってなあに?】

海には、離岸流とよばれる沖へ向かう水の流れることがあります。この流れののってしまつと、どんどん沖へ流されてしまうコ〜フ〜潮の流れです。海水浴場で溺れる人は、この離岸流に流れ、岸に戻ろうと泳いでいるうちに泳ぎ疲れてしまうことが多いようです。海で泳ぐ時は、離岸流に注意しましょう。

【離岸流の見分け方】

- 流れによって海の底の砂が巻き上げられ、周囲の色と異なり水がにごって見えるところ。
- ビーチボールや浮き輪などが、沖へ流れているところ。
- 波の白い泡やゴミが集まって沖へ向かって流れているところ。
- 波の崩れる位置が周囲と異なり、波がなかなか崩れにくいところ。
- 岩場や突堤のある近くも複雑な流れがあり、沖へ流されることもあるので注意が必要です。



【もしも離岸流に流されたら...】

1. パニックにならないこと

離岸流は速いもので秒速2m(水泳のトップ選手の泳ぐ速さと同じくらい)ほどになりますが、ある程度沖まで流されれば流れは弱まります。落ちついて次の行動を考えましょう。

2. 流れから逃げる

泳ぎに自信がある人は、岸に向かって45度の角度で泳ぎます。流れが強い場合や泳ぎに自信がない人は、いったん横に20~30m泳いでから岸に向かうか、沖の流れがなくなるところまで流されてから横に泳いで岸に戻りましょう。

インショアホール

【浅いところなのに急に足がつかなくなる??】

潮がひくと、砂浜の所々に深くほられている穴に水がたまっていることがあります。これをインショアホールといいます。

潮が満ちてくると、その穴の部分が急に深くなり足が海の底につかなくなります。浅いところだと思って遊んでいると、このインショアホールに落ちておぼれてしまいます。またあわてて走っていると、穴に足を取られねんざをしてしまう事があるので注意しましょう。



海辺でたのしく遊ぶために!!

海辺は、とっても楽しいところ。だけど、自然の力はとても強く危険なところもたくさんあります。みんなが海辺であそぶとき、このルールを守ってたのしくあそびましょう。



天気をしらべよう

天気によっては、海で泳げないときもあります。また、天気は変わりやすいので気をつけましょう。



あそぶ場所をしらべよう

自然の中は、危険なところがたくさんあります。あそぶ場所を知っておくことで、危険な場所を知ることができます。



おとなといっしょに!!

大人の人と一緒にいき、大人の人の注意をよく聞きましょう。人のいない場所には行かない!!



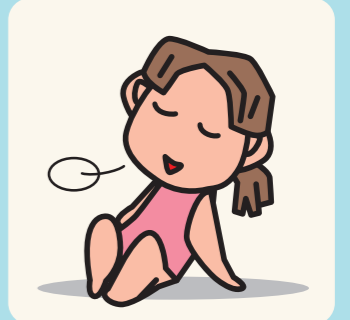
準備たいそうをしよう

水の中に急に入ると、体がびっくりして足がつかたり、溺れたりします。準備体操で体をほくしてから泳ぎましょう。



海には飛びこまない!!

海の状況は時間ごとに変化します。海に走って飛びこむのはやめましょう。



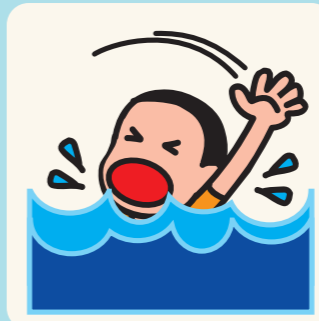
きゅうけいを必ずしよう

食後や睡眠不足のときは、すぐに泳ぐのをやめて、しっかりきゅうけいをしてから泳ぎましょう。



おひさまには注意!!

炎天下の海岸では、水分をしっかりととりましょう。日焼けには十分注意しましょう。



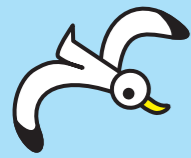
たすけてサイン

自分がおぼれた時や、おぼれている人を見つけた時は、ライフセーバーにたすけてサインを出しましょう。

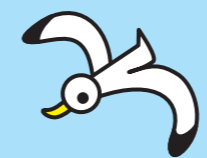


ごみをもってかえろう

ごみは、海岸を汚すだけでなく、ごみでケガをすることもあります。次にあそびに来る人のために...。海に住む生きもののために...



たのうら かんさつ 田ノ浦ビーチ観察マップ



★2007年9月2日に観察しました!!



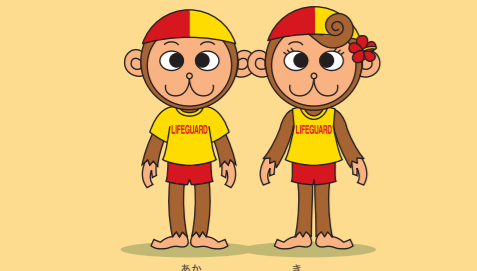
さあ、みなさんも海のももだちとなかよくなるう!!

たのうら 田ノ浦ビーチにはライフガードがいる。

【ライフガードって、どんな仕事?】

ライフガードは、海やプールなど水辺での事故をなくすことを目的とした活動をする人です。

ライフガードは、おぼれた人を助けるだけでなく、事故を未然に防ぐための仕事をしています。



黄色のTシャツと赤パンツを着ているよ!!

とても目立つ色の服を着ているのは、どこにライフガードがいるのか、すぐにわかるからだよ。

たのうら 田ノ浦ビーチには遊泳エリアがある。

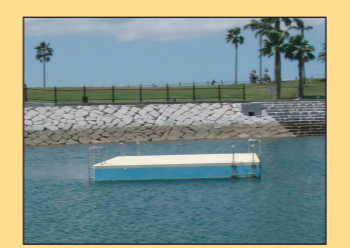
【遊泳エリアってなあに?】

遊泳エリアとは、みんなが安全に安心して泳げるエリアのことです。

海で泳ぐときは、赤と黄色の旗と旗の間で泳ぎましょう。



たのうら 田ノ浦ビーチのあぶないところ



あぶないところを知ること、どのように注意したら良いかがわかるんだよ!!

ほかにも危ないところがないか探して、安全にたのしくあそぼうね。



たのうら 田ノ浦ビーチにすんでいるいきもの

- ヤスリヒザラガイ**

いわ 岩のくぼみなど、あちこちで見ることができます。若から外すとダンゴムシのように体をまるめます。太陽の光にあたるとここに置くと、あわてて日かげにかくれます。
- トコブシ**

いし 石の裏やあいた穴のすきまにへばりついていて、見つかると早足でにげます。アワビに似ていますが、殻の穴の数が見分けができます。
- イシダタミガイ**

いわば 岩場のあちこちにいる巻貝。からの表面が、石だたみのような形をしていることから、この名前がつけました。
- モミジガイ**

ヒトデのなかまで、体のまわりはトゲでかまれています。海底の砂の上をすべるようにして動きます。
- マヒトデ**

いわば 岩場にいる巻貝や海の底に沈んだ魚の死がいなどを、口から胃袋を出して包みこむようにして、時間をかけて食べます。
- ムラサキウニ**

いわ 岩かげや岩のすきまにすんでいます。くちばしのような口で、海そうをかじるようにして食べます。
- スカシカシパン**

ウニのなかまで、海底の砂地でよく見かけます。体全体に砂や海そうのカケラなどを付けて歩いています。
- フジナマコ**

うみ 海の底の泥や砂の中の栄養分を食べるので、『海のそうじ屋』として大切な生き物です。
- ホタテウミヘビ**

か 背びれの前は黒っぽい色をしている。尾の先から砂の中にもぐり、顔だけ砂から出しています。
- ボラ**

かい 海そうや海の底にいる生き物など、いろんなものを食べます。子どものときは、群れて川をさかのぼってきます。

監修 大分マリンパレス水族館「うみたまご」 星野 和夫
NPO法人ウォーターセーフティーマネジメント協会 尾田 智史

協力 大分ライフセービングクラブ

製作・著作 大分県土木建築部河川課
NPO法人ウォーターセーフティーマネジメント協会